【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【公表番号】特表2017-508460(P2017-508460A)
【公表日】平成29年3月30日(2017.3.30)
【年通号数】公開・登録公報2017-013
【出願番号】特願2016-555343(P2016-555343)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｌ　33/11　(2016.01)
Ａ２３Ｌ　33/115　(2016.01)
Ａ２３Ｌ　33/125　(2016.01)
Ａ６１Ｋ　31/575　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｌ　33/11
Ａ２３Ｌ　33/115
Ａ２３Ｌ　33/125
Ａ６１Ｋ　31/575
Ａ６１Ｐ　3/06

【手続補正書】
【提出日】平成30年2月7日(2018.2.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
－　少なくとも２０重量％の量の植物ステロールエステルおよび／または植物スタノールエステル、
－　最大１５重量％の量のゲル化剤、ならびに
－　３．０～３５重量％の量の水
を含むゲル化エマルション。
【請求項２】
前記植物ステロールエステルおよび／または植物スタノールエステルの量が、少なくとも２５重量％、好ましくは少なくとも３０重量％、より好ましくは少なくとも３５重量％、さらにより好ましくは少なくとも４０重量％、なおもより好ましくは少なくとも４２重量％、さらにより好ましくは少なくとも４５重量％、さらにより好ましくは少なくとも４８重量％、なおもさらにより好ましくは少なくとも５０重量％、最も好ましくは少なくとも５２重量％であることを特徴とする、請求項１に記載のゲル化エマルション。
【請求項３】
前記ゲル化エマルションが、０～２０重量％、好ましくは０～１５重量％、より好ましくは０～１０重量％、さらにより好ましくは０～９．０重量％、なおもより好ましくは０～８．０重量％、さらにより好ましくは０～６．０重量％、さらにより好ましくは０～４．０重量％、なおもさらにより好ましくは０～２．０重量％、最も好ましくは０～０．１重量％の量のトリグリセリド脂をさらに含むことを特徴とする、請求項１又は２に記載のゲル化エマルション。
【請求項４】

前記ゲル化剤の総量が、最大１４重量％、好ましくは最大１３重量％、より好ましくは最大１２重量％、さらにより好ましくは最大１１重量％、最も好ましくは最大１０重量％であることを特徴とする、請求項１～３のいずれか一項に記載のゲル化エマルション。
【請求項５】
前記ゲル化剤が、好ましくは、少なくとも５０重量％、より好ましくは少なくとも６０重量％、さらにより好ましくは少なくとも７０重量％、なおもより好ましくは少なくとも８０重量％、最も好ましくは少なくとも９０重量％の量のゼラチン、および任意選択で、カラギナン、ペクチン、アルギネート、ジェランガム、および寒天からなる群から選択される少なくとも１つのゲル化剤を含み、最も好ましくは、前記ゲル化剤がゼラチンであることを特徴とする、請求項１～４のいずれか一項に記載のゲル化エマルション。
【請求項６】
前記ゲル化エマルションが、１つ以上のポリオールをさらに含み、前記ポリオールの総量が、１．０～６０重量％、より好ましくは１．０～５０重量％、なおもより好ましくは２．０～５０重量％、いっそうより好ましくは３．０～４０重量％、さらにより好ましくは４．０～３５重量％、なおもさらにより好ましくは４．０～３０重量％、いっそうさらにより好ましくは５．０～３０重量％、なおもいっそうさらにより好ましくは５．０～２５重量％、最も好ましくは５．０～２０重量％であることを特徴とする、請求項１～５のいずれか一項に記載のゲル化エマルション。
【請求項７】
前記ポリオールが、グリセロールを含み、および好ましくは、グリセロールの量が、前記ポリオールの総量の少なくとも５重量％、より好ましくは少なくとも１０重量％、さらにより好ましくは少なくとも１５重量％、なおもより好ましくは少なくとも２０重量％、さらにより好ましくは少なくとも５０重量％、さらにより好ましくは少なくとも７０重量％、最も好ましくは少なくとも８５重量％であることを特徴とする、請求項６に記載のゲル化エマルション。
【請求項８】
前記ポリオールが、キシリトールを含み、および好ましくは、キシリトールの量が、前記ポリオールの総量の少なくとも５重量％、より好ましくは少なくとも１０重量％、さらにより好ましくは少なくとも２０重量％、なおもより好ましくは少なくとも４０重量％、さらにより好ましくは少なくとも５０重量％、さらにより好ましくは少なくとも６０重量％、なおもさらにより好ましくは少なくとも６５重量％、最も好ましくは少なくとも８０重量％であることを特徴とする、請求項６に記載のゲル化エマルション。
【請求項９】
前記ポリオールが、グリセロールおよびキシリトールを含み、および好ましくは、キシリトールに対するグリセロールの重量比が、０．０５～１０、より好ましくは０．０８～２．０、さらにより好ましくは０．１１～１．０、なおもより好ましくは０．１４～０．８、最も好ましくは０．１６～０．５であり、および／またはグリセロールの量が、グリセロールおよびキシリトールの総量の好ましくは少なくとも５重量％、より好ましくは少なくとも７重量％、さらにより好ましくは少なくとも１０重量％、なおもより好ましくは少なくとも１２重量％、最も好ましくは少なくとも１４重量％であることを特徴とする、請求項６に記載のゲル化エマルション。
【請求項１０】
前記ゲル化エマルション中に存在するう蝕原性の糖がないことを特徴とする、請求項１～９のいずれか一項に記載のゲル化エマルション。
【請求項１１】
前記ゲル化剤に対する前記植物ステロールエステルおよび／または植物スタノールエステルの重量比が、少なくとも６．０、好ましくは少なくとも６．５、より好ましくは少なくとも７．０、さらにより好ましくは少なくとも７．５、最も好ましくは少なくとも８．０であることを特徴とする、請求項１～１０のいずれか一項に記載のゲル化エマルション。

【請求項１２】
前記ゲル化エマルションの用量単位のサイズが、少なくとも０．３ｇ、好ましくは０．３～１２．５ｇ、より好ましくは０．４～１０ｇ、さらにより好ましくは０．５～９．０ｇ、なおもより好ましくは０．６～８．０ｇ、さらにより好ましくは０．７～７．０ｇ、最も好ましくは１．０～６．０ｇであることを特徴とする、請求項１～１１のいずれか一項に記載のゲル化エマルション。
【請求項１３】
請求項１～１２のいずれか一項に記載のゲル化エマルションであって、その水分活性ａｗが、最大０．９０、好ましくは最大０．８７、より好ましくは最大０．８５、さらにより好ましくは最大０．８０、最も好ましくは最大０．７５であり、その含水率が、４．０～３４重量％、好ましくは５．０～３３重量％、より好ましくは６．０～３２重量％、さらにより好ましくは７．０～３１重量％、なおもより好ましくは８．０～３０重量％、さらにより好ましくは９．０～２９重量％、さらにより好ましくは１０～２８重量％、最も好ましくは１１～２７重量％であることを特徴とする、ゲル化エマルション。
【請求項１４】
請求項１～１３のいずれか一項に記載のゲル化エマルションであって、前記ゲル化エマルション１グラム当たりのそのエネルギー含有量が、最大４０ｋＪ、好ましくは最大３５ｋＪ、より好ましくは最大３０ｋＪ、さらにより好ましくは最大２５ｋＪ、最も好ましくは最大２０ｋＪであることを特徴とする、ゲル化エマルション。
【請求項１５】
栄養補助製品であることを特徴とする、請求項１～１４のいずれか一項に記載のゲル化エマルション。
【請求項１６】
請求項１～１５のいずれか一項に記載のゲル化エマルションを含む食用製品。
【請求項１７】
コーティングされていないことを特徴とする、請求項１６に記載の食用製品。
【請求項１８】
請求項１～１５のいずれか一項に記載のゲル化エマルションまたは請求項１６又は１７に記載の食用製品を含むブリスター。
【請求項１９】
血清ＬＤＬコレステロールレベルを低下させるための請求項１～１５のいずれか一項に記載のゲル化エマルションまたは請求項１６又は１７に記載の食用製品。
【請求項２０】
ａ）好ましくは少なくとも４０℃の温度で、水およびゲル化剤ならびに任意選択で他の水溶性成分を混合することによって、水相を調製するステップ、
ｂ）好ましくは少なくとも４０℃の温度で、植物ステロールエステルおよび／または植物スタノールエステルを融解し、および任意選択でそれを他の脂質可溶性成分と混合するステップ、
ｃ）好ましくは少なくとも４０℃の温度で、前記水相とともに、前記融解した植物ステロールエステルおよび／もしくは植物スタノールエステル、または植物ステロールエステルおよび／もしくは植物スタノールエステルと他の脂質可溶性成分との混合物を乳化するステップ、
ｄ）型内に、好ましくは用量単位の型内に、好ましくは少なくとも４０℃の温度で、得られたエマルションを供給するステップ、ならびに
ｅ）前記エマルションを前記水相のゲル化温度以下に冷却し、ゲル化エマルションを得るステップ
を含む、請求項１～１５のいずれか一項に記載のゲル化エマルションを調製するための方法。